

■フジノウェーブ記念（SIII）アラカルト（過去全 15 回の分析）

※第 1 回（平成 22 年）から第 4 回（平成 25 年）までは「東京スプリング盃」の名称で実施

※記録は令和 7 年 2 月 27 日時点

■上位人気馬の好走率は 5 割前後

単勝 1 番人気馬は 6 勝、2 着 1 回、3 着 1 回で、3 着内率が 53.3%、単勝 2 番人気馬は 0 勝、2 着 4 回、3 着 3 回で、3 着内率が 46.7%、単勝 3 番人気馬は 5 勝、2 着 2 回、3 着 1 回で、3 着内率が 53.3%となっている。現在のところ、単勝 1～3 番人気馬の 3 着内率にはそれほど大きな差がない。

■3 番人気以内の馬が 1～2 着を占めた例は 5 回

過去 15 回のうち 11 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 5 回あるが、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着はまだない。

■7 歳以上の馬が優勝馬の大半を占めている

馬齢別の勝利数を見ると、4 歳が 2 勝、5 歳が 2 勝、6 歳が 2 勝、7 歳が 4 勝、8 歳が 2 勝、9 歳が 1 勝、10 歳が 1 勝、11 歳が 1 勝となっている。幅広い年齢層から万遍なく優勝馬が出ているうえ、どちらかと言えば 7 歳以上の高齢馬が優勢だ。

■フジノウェーブは「東京スプリング盃」を第 1 回から 4 連覇

フジノウェーブ記念において複数回の優勝経験があるのは、「東京スプリング盃」の名称で施行された第 1 回（平成 22 年）、第 2 回（平成 23 年）、第 3 回（平成 24 年）、第 4 回（平成 25 年）を制したフジノウェーブ、第 10 回（平成 31 年）と第 12 回（令和 3 年）を制したキャプテンキング、第 14 回（令和 5 年）と第 15 回（令和 6 年）を制したギャルダルの 3 頭となっている。

■牝馬、外国産馬とも未勝利

牝馬の優勝例はまだなく、第7回（平成28年）のブルーチップーによる5着が過去最高着順となっている。また、外国産馬は第6回（平成27年）でサトノデートナが、第12回（令和3年）でベストマッチョが2着となっているものの、こちらもまだ優勝例はない。

■騎手別の歴代最多勝記録は「3」

騎手別の勝利数を見ると、御神本訓史騎手が3勝で単独トップ。坂井英光騎手、矢野貴之騎手が2勝で2位タイとなっている。

■調教師別の歴代最多勝記録は「4」

調教師別の勝利数を見ると、高橋三郎調教師が4勝で単独トップ。川島正一調教師、的場直之調教師が2勝で2位タイとなっている。

■7枠に入った馬の優勝例が多い

枠番別勝利数を見ると、7枠（5勝）が単独トップ。2枠、3枠、4枠（各2勝）が2位タイとなっている。ちなみに、未勝利の枠番はない。また、馬番別勝利数を見ると、13番（3勝）が単独トップ。3番（2勝）が単独2位となっている。なお、未勝利の馬番は2番、4番、9番、16番だ。

<伊吹雅也>